

# TSUNAMIネットワークパートナーズ 通信

## \* 第3号 TSUNAMIベンチャー会員 上場記念 \*

先月8月18日(水)に、支援組織「TSUNAMI」のベンチャー会員である「株式会社シコー技研」がマザーズ市場に上場いたしました。シコー技研は、携帯電話のバイブレーション機能に必須の振動モータ他、多種にわたる小型モータを開発、製造する会社です。今回の通信では、白木社長と下津監査役に上場に至るまでのお話し等をお聞きしましたので、ご紹介いたします。



◆ 代表取締役社長 白木 学 氏



◆ 東京証券取引所にて、白木社長他役員

### 【会社概要】 会社名：株式会社シコー技研

(URL <http://www.shicoh.com/>)

代表者：代表取締役社長 白木 学 氏

所在地：神奈川県大和市下鶴間 3854-1 電話番号：046-278-3570

設立：1976年7月16日 資本金：14億5000万円 (04年8月18日時)

事業内容：携帯電話市場向け及びその他市場向けの各種モータ応用電子部品の開発製造及び販売

### I、白木社長のお話

#### ① 上場後の今の心境

新たに多数の投資家の皆様に当社の株主になって頂きました。今後は、これまでに以上に厳しい姿勢で会社の経営に携わり、株主の皆様に対して企業としての責任を果たしていかなければならないと、気持ちを新たにしているところです。当社の社員を始めこれまでシコー技研を支えて下さった関係者の皆様のご支援とご協力に心から感謝しています。お蔭様で上場ができて、それにより調達できた貴重な資金を更なる設備投資に向けたかと思っております。シコー技研の社是であります「思考」を大切に、新製品の開発に挑戦し、社会の役に立つ製品を送り出して行きたいと強く思っています。

#### ② 上場までの苦労話

やっと開発した新製品が、資金不足の為十分な設備投資ができずに、顧客の需要の半数も満たすことができなかったといった経験をいやというほど味わってきました。又、海外の大手メーカーが、取引の条件として上場企業でなければならないことを理由に注文が出せないと言って、断ってきて悔しい思いをしましたこともあり。上場に当たっては、組織的で計画的な企業運営の基礎作りと、内部管理体制の充実に向けた膨大な作業に取り組む必要があり、多くの社員に負担がかかりましたが、皆の協力により乗り切ることができました。

#### ③ TSUNAMIのベンチャー会員への励ましの言葉

シコー技研は28年前に、社員数わずか数名のハイテク・ベンチャー企業として出発しました。人の物まねをしない独創的な製品を開発するという強烈な意思を持ち続けて、これまでモータの小型化という課題に挑戦し続けてきました。世界中のどこにもない製品を開発する為には何をなすべきかというのが企業運営の原点です。会員の皆様の会社におかれましても、企業のあるべき姿を明確にし、それに向かって強い意志を持って取り組むことが大変重要な事だと思います。皆様の今後ますますのご発展を念じています。

### II、監査役 下津 弘子様のお話

#### ① 上場後の今の心境

私は従業員として18年間シコー技研に務めた後、昨年3月に監査役に就任しましたので、今は従業員ではありませんが、従業員の気持ちを代表してご挨拶させていただきます。上場後の今の心境は、実感としてはあまり以前と変化が無いといったところです。周りの人達を見ても皆、普段どおりに仕事に取り組んでいますし、特別変化は無いような気がします。ただ、上場により自社株の価格が決まり、その後市場で取引され価格が変動するのを見るにつけ、たくさんの株主の方々が当社に関わっているのだということを実感し、責任を感じています。これから心境が少しずつ変わっていくのかなと思います。

#### ② 上場までの社員としての苦労話

まだ会社がプレハブ作りの貧弱な建物の時代に、人材募集の面接の為に当社を訪ねてくる人の中には、会社の入り口まで来て、そのまま引き返してしまう姿がありました。その光景を二階の窓から見て、あーまたか、と悔しい思いをしました。なかなか人材が集まらない時代もありました。良くここまで来ることができたと、感無量です。

### ☆ TSUNAMI ネットワークパートナーズ 社長：呉 雅俊

シコー技研さんの上海工場には何度か見学にいかせてもらいました。訪問する度に工場が拡張され従業員の数も飛躍的に増えていくのに驚きを感じていました。工場には新しいことにチャレンジする白木社長の大胆な発想と技術者としての細かなこだわりが随所にみられ、シコー技研という会社の強さがにじみ出ているようでした。急成長の中で株式上場にチャレンジし見事に成し遂げられた過程には相当な苦労があったと思います。我々も全力でお手伝いさせていただきましたが、おそらく白木社長のチャレンジとシコー技研の発展はまだまだ入り口段階に入ったに過ぎないのではないのでしょうか。TSUNAMIとしてもベンチャー会員さんに勇気を与える大きな成功事例になったのではないかと考えております。マザーズ上場を糧にさらなる夢の実現に向けて邁進されるシコー技研さんの今後に大いに期待しております。

### ☆ TSUNAMI ネットワークパートナーズ 取締役：岸 透

社名のシコーは「思考」を意味するのとおり、次々に湧き出る白木社長の独創的な発想を基に発展を続けてきました。長年にわたり、常にチャレンジを続けてきた社長を始めとする役員、従業員皆さんの姿を間近に見続けてきただけに、今回マザーズ上場に至ったことは非常に感慨深いものがあります。皆さん誰もが知っている開発商品に、携帯電話のバイブレーション機能である振動モータがありますが、その他にも「世界のどこにもないものを作る」という社長の情熱のもと、数々の商品が開発されています。上場を果たしても、変わらぬフロンティア精神を持ち続け、世界の市場へ邁進されることと思います。今後も期待をしています。

(株)TSUNAMI ネットワークパートナーズ  
電話：045-470-8088  
FAX：045-470-8090  
井汲／進藤／飯塚／奈尾